

分野別計画一覧

各政策分野において策定している、より詳細な施策や取組を示した個別の計画を記載しています。

政策1 命を守る安全な地域づくり（新たなリスクへの備えの強化）

計画名	計画期間	政策の柱			
		1-1	1-2	1-3	1-4
静岡県国土強靱化地域計画	-	○		○	
静岡県地域防災計画	-	○		○	
静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013	2013～2022年度	○		○	
静岡県保健医療計画	2018～2023年度	○	○		
静岡県感染症予防計画	-		○		
静岡県肝炎対策推進計画	2018～2023年度		○		
静岡県経済産業ビジョン	2022～2025年度		○	○	
静岡県食と農の基本計画	2022～2025年度		○	○	
“ふじのくに”危機管理計画 基本計画	-			○	
“ふじのくに”のフロンティアを拓く取組 第3期基本計画	2018～2022 年度			○	
静岡県耐震改修促進計画	2021～2025年度			○	
美しい“ふじのくに”インフラビジョン	2022～2025年度			○	
“ふじのくに”の農山村づくり～静岡県農業農村整備みらいプラン	2022～2025年度			○	
静岡県森林共生基本計画	2022～2025年度			○	
富士山火山広域避難計画	-			○	
浜岡地域原子力災害広域避難計画	-			○	
静岡県国民保護計画	-			○	
ふじのくに防犯まちづくり行動計画	2022～2025年度				○
静岡県再犯防止推進計画	2022～2025年度				○
静岡県犯罪被害者等支援推進計画	2021～2025年度				○
静岡県警察みらい創造計画	2021～2025年度				○
静岡県交通安全計画	2021～2025年度				○
静岡県消費者基本計画	2022～2025年度				○
静岡県消費者教育推進計画	2022～2025年度				○
しずおか食の安全推進のためのアクションプラン	2022～2025年度				○

政策2 安心して暮らせる医療・福祉の充実

計画名	計画期間	政策の柱			
		2-1	2-2	2-3	2-4
静岡県保健医療計画	2018～2023年度	○	○		
静岡県医療費適正化計画	2018～2023年度	○			
ファルマバレープロジェクト戦略計画	2011～2025年度	○			
静岡県がん対策推進計画	2018～2023年度	○			
静岡県循環器病対策推進計画	2022～2023年度	○			
静岡県感染症予防計画	-	○			
静岡県肝炎対策推進計画	2018～2023年度	○			
ふじのくに健康増進計画	2014～2022年度	○			
ふじのくに健康増進計画後期アクションプラン	2018～2022年度	○			
静岡県食育推進計画	2014～2022年度	○			
静岡県歯科保健計画	2014～2022年度	○			
静岡県長寿社会保健福祉計画（ふじのくに長寿社会安心プラン）	2021～2023年度		○		
静岡県地域福祉支援計画	2021～2026年度		○		○
静岡県障害者計画（ふじのくに障害者しあわせプラン）	2022～2025年度			○	
静岡県障害福祉計画（ふじのくに障害者しあわせプラン）	2021～2023年度			○	
静岡県障害児福祉計画（ふじのくに障害者しあわせプラン）	2021～2023年度			○	
静岡県アルコール健康障害対策推進計画	2018～2022年度			○	
静岡県ギャンブル等依存症対策推進計画	2021～2023年度			○	
いのちを支える“ふじのくに”自殺総合対策行動計画	2017～2022年度				○

政策3 デジタル社会の形成

計画名	計画期間	政策の柱	
		3-1	3-2
ふじのくにDX推進計画	2022～2025年度	○	○
ふじのくにICT人材確保・育成戦略	—	○	
静岡県職業能力開発計画	2022～2026年度	○	

政策4 環境と経済が両立した社会の形成

計画名	計画期間	政策の柱		
		4-1	4-2	4-3
静岡県環境基本計画	2022～2030年度	○	○	○
静岡県地球温暖化対策実行計画	2022～2030年度	○		
静岡県経済産業ビジョン	2022～2025年度	○		○
静岡県住生活基本計画	2021～2030年度	○		
美しい“ふじのくに”インフラビジョン	2022～2025年度	○		
ふじのくにエネルギー総合戦略	2022～2030年度	○		○
“ふじのくに”の農山村づくり～静岡県農業農村整備みらいプラン	2022～2025年度			○
静岡県森林共生基本計画	2022～2025年度	○		○
“ふじのくに”公共建築物等木使い推進プラン	2022～2025年度	○		
静岡県企業局経営戦略（第4期中期経営計画）改訂版	2018～2027年度	○		○
静岡県循環型社会形成計画	2022～2026年度		○	
静岡県災害廃棄物処理計画	—		○	
静岡県一般廃棄物処理広域化マスタープラン	2022～2031年度		○	
静岡県海岸漂着物対策地域計画	—		○	
静岡県ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理計画	2020～2026年度		○	
“ふじのくに”のフロンティアを拓く取組 第3期基本計画	2022～2027年度		○	
静岡県生活排水処理長期計画	2017～2036年度			○
ふじのくに生物多様性地域戦略	2018～2027年度			○
鳥獣保護管理事業計画	2022～2026年度			○
第二種特定鳥獣管理計画（ニホンジカ・イノシシ・カモシカ）	2022～2026年度			○
静岡県緑化推進計画	2018～2027年度			○
静岡県の試験研究機関に係る基本戦略	2022～2025年度			○

政策5 子どもが健やかに学び育つ社会の形成

計画名	計画期間	政策の柱	
		5-1	5-2
静岡県子ども・子育て支援事業支援計画（ふじさんっこ応援プラン）	2020～2024年度	○	
静岡県次世代育成支援対策行動計画（ふじさんっこ応援プラン）	2020～2024年度	○	
ふじのくに「有徳の人」づくり大綱	2022～2025年度	○	○
静岡県教育振興基本計画	2022～2025年度	○	○
静岡県配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護・支援に関する基本計画（静岡県DV防止基本計画）	2022～2025年度		○
静岡県ひとり親家庭自立促進計画	2020～2024年度		○
静岡県子どもの貧困対策計画（ふじさんっこ応援プラン）	2020～2024年度		○

政策6 “才徳兼備”の人づくり

計画名	計画期間	政策の柱	
		6-1	6-2
ふじのくに「有徳の人」づくり大綱	2022～2025年度	○	○
静岡県教育振興基本計画	2022～2025年度	○	○

政策7 誰もが活躍できる社会の実現

計画名	計画期間	政策の柱	
		7-1	7-2
ふじのくにICT人材確保・育成戦略	—	○	
静岡県経済産業ビジョン	2022～2025年度	○	
静岡県職業能力開発計画	2022～2026年度	○	
静岡県男女共同参画基本計画	2021～2025年度	○	○
静岡県の女性の職業生活における活躍の推進に関する計画	2021～2025年度	○	
静岡県長寿社会保健福祉計画（ふじのくに長寿社会安心プラン）	2021～2023年度	○	
ふじのくに「有徳の人」づくり大綱	2022～2025年度	○	
静岡県教育振興基本計画	2022～2025年度	○	
夢へはばたけ！ふじのくに若い翼プラン —第3期静岡県子ども・若者計画—	2022～2025年度	○	
ふじのくに多文化共生推進基本計画	2022～2025年度		○
静岡県人権施策推進計画（ふじのくに人権文化推進プラン）	2021～2025年度		○
ふじのくにユニバーサルデザイン推進計画	2022～2025年度		○

政策8 富をつくる産業の展開

計画名	計画期間	政策の柱				
		8-1	8-2	8-3	8-4	8-5
静岡県経済産業ビジョン	2022～2025年度	○	○	○	○	○
静岡県産業成長戦略	2022～2025年度	○	○	○	○	
ふじのくにICT人材確保・育成戦略	—	○				
静岡県職業能力開発計画	2022～2026年度	○				
静岡県の試験研究機関に係る基本戦略	2022～2025年度			○	○	
静岡県企業局経営戦略（第4期中期経営計画）改訂版	2018～2027年度	○				
“ふじのくに”のフロンティアを拓く取組 第3期基本計画	2022～2027年度	○				
ファルマバレープロジェクト第4次戦略計画	2021～2025年度		○			
フーズ・ヘルスクエア オープンイノベーションプロジェクト第1次戦略計画	2020～2024年度		○	○		
光・電子技術を活用した未来創生ビジョン（フォトンビジョン）	—		○	○		
マリンオープンイノベーションプロジェクト第1次戦略計画	2020～2024年度		○			
ふじのくにマーケティング戦略	—		○			○
静岡県観光躍進基本計画	2022～2025年度		○	○		
新ふじのくに物流ビジョン（取組計画）	2022～2025年度				○	
静岡県食と農の基本計画	2022～2025年度					○
“ふじのくに”の農山村づくり～静岡県農業農村整備みらいプラン	2022～2025年度					○
静岡県森林共生基本計画	2022～2025年度					○
“ふじのくに”公共建築物等木使い推進プラン	2022～2025年度					○
静岡県水産振興基本計画	2022～2025年度					○

政策9 多彩なライフスタイルの提案

計画名	計画期間	政策の柱		
		9-1	9-2	9-3
静岡県住生活基本計画	2021～2030年度	○		
静岡県マンション管理適正化推進計画	2022～2031年度	○		
“ふじのくに”のフロンティアを拓く取組 第3期基本計画	2022～2027年度	○		
ふじのくに景観形成計画	2017～2026年度	○		
静岡県緑化推進計画	2018～2027年度	○		
静岡県動物愛護管理推進計画	2021～2030年度	○		
静岡県経済産業ビジョン	2022～2025年度	○		
静岡県食と農の基本計画	2022～2025年度	○		
“ふじのくに”の農山村づくり～静岡県農業農村整備みらいプラン	2022～2025年度	○		
美しい“ふじのくに”インフラビジョン	2022～2025年度	○		
県営都市公園経営基本計画	2019～2023年度	○		
静岡県生活排水処理長期計画	2017～2036年度	○		
静岡県過疎地域持続的発展方針・静岡県過疎地域持続的発展計画	2021～2030年度	○		
伊豆中南部地域半島振興計画	2015～2024年度	○		
静岡県観光躍進基本計画	2022～2025年度		○	○

政策10 地域の価値を高める交通ネットワークの充実

計画名	計画期間	政策の柱	
		10-1	10-2
美しい“ふじのくに”インフラビジョン	2022～2025年度	○	
「美しい“ふじのくに”」のみちづくり	2022～2025年度	○	
ふじのくにクルーズ船誘致戦略	2017年度～		○

政策11 “ふじのくに”の魅力の向上と発信

計画名	計画期間	政策の柱		
		11-1	11-2	11-3
静岡県スポーツ推進計画	2022～2025年度	○		
静岡県自転車活用推進計画	2022～2026年度	○		
美しい“ふじのくに”インフラビジョン	2022～2025年度	○		○
県営都市公園経営基本計画	2019～2023年度	○		
静岡県文化振興基本計画	2022～2025年度		○	
富士山包括的保存管理計画	2016年～		○	
静岡県環境基本計画	2022～2030年度		○	○
静岡県教育振興基本計画	2022～2025年度		○	
ふじのくに景観形成計画	2017～2026年度			○
ふじのくに生物多様性地域戦略	2018～2027年度			○
鳥獣保護管理事業計画	2022～2026年度			○
第二種特定鳥獣管理計画（ニホンジカ・イノシシ・カモシカ）	2022～2026年度			○
静岡県経済産業ビジョン	2022～2025年度			○
静岡県森林共生基本計画	2022～2025年度			○

政策12 世界の人々との交流の拡大

計画名	計画期間	政策の柱	
		12-1	12-2
静岡県観光躍進基本計画	2022～2025年度	○	
静岡県地域外交基本方針	2022～2025年度		○
静岡県経済産業ビジョン	2022～2025年度		○
ふじのくにマーケティング戦略	—		○
静岡県食と農の基本計画	2022～2025年度		○

政策の実効性を高める行政経営

計画名	計画期間	柱		
		1	2	3
静岡県行政経営革新プログラム	2022～2025年度	○	○	○

用語解説

用語	内容
I o T	「Internet of Things」(モノのインターネット)の略で、あらゆる「モノ」がインターネットに接続することにより、制御できたり、情報が取得できたりする仕組み
I C T水田水管理システム	自動給排水栓や水田センサー等のICTを活用して水田の水管理を遠隔で制御するシステム
アイデアソン	アイデアとマラソンを組み合わせた言葉。ある特定のテーマについて、多様なメンバーが集まり、対話を通じて新たなアイデアを創出するイベント
A O I - P A R C (アオイパーク)	農食健、農商工、産学官金の連携によって、農業の生産性向上や農業を軸とした関連産業のビジネス展開を促進する「A O Iプロジェクト」を牽引する研究開発拠点で、2017年8月、沼津市に開所
アーツカウンシル	助成制度を基軸として、政府・行政組織と一定の距離を保ちながら、効果的な文化・芸術振興や、その活用の支援等を担う専門機関
アドベンチャーツーリズム	アクティビティ、自然、異文化体験の3要素のうち、2つ以上で構成される観光
A Y A世代	Adolescent and Young Adultの略で、おおそ10歳代半ばから30歳代の思春期及び若年成人のこと
R P A	「Robotic Process Automation」の略で、これまで人間が行ってきた定型的なパソコン上の作業をソフトウェアにより自動化する技術のこと
E S G金融	環境 (Environment)、社会 (Social)、企業統治 (Governance) の要素を重視し行う投資融資
伊豆ヘルスケア温泉イノベーション (ICOI) プロジェクト	温泉を核とし、自然・歴史・文化・食などの地域資源、スポーツ科学などの知見を組み合わせ、官民が一体となって伊豆地域に適したヘルスケアサービス等を創出することで、地域の活性化と産業の振興を目指すプロジェクト
A I - O C R	手書きや印刷された文字をイメージスキャナ等で読取り、コンピュータが利用できるデジタルの文字コードに変換するO C R (Optical Character Recognition) 技術に、A I (Artificial Intelligence) を活用したものであり、精度の高い文字認識が可能
エンゲージメント	SNSの投稿に対して、閲覧者が「いいね」「シェア」「リツイート」などの反応を示した数
演劇の都構想	県立劇団S P A Cの躍進を契機とし、演劇をテーマとした本県文化の活性化を図るため、2021年に策定 本県の舞台芸術を目指して国内外から多くの人々が訪れ、舞台芸術が県民の誇りとなり、舞台芸術の振興をきっかけとした本県文化力の向上を目指す構想
海洋プラスチックごみ防止6R県民運動	プラスチックごみの海への流出を防止するため、従来のごみ削減のための3R (リデュース、リユース、リサイクル) に、新たに「リフェーズ (不要な使い捨てプラスチックを断る)」、「リターン (外出時のごみを持ち帰る、食品トレイなどの店頭回収を利用する)」、「リカバー (清掃活動に参加する)」の3つのRを加えて「6R」とし、静岡県民一人ひとりができることから取り組むよう呼び掛ける、県民総参加の運動
科学の甲子園	科学好きの裾野を広げるとともにトップ層を伸ばすことを目的に、国立研究開発法人科学技術振興機構が行う、高校生を対象とした理科・数学・情報分野の競技会
ガストロノミーツーリズム	その土地の気候風土が生んだ食材、習慣、伝統、歴史などによって育まれた食を楽しみその土地の食文化に触れることを目的とした観光
学校支援心理アドバイザー	学校現場で、臨床心理の知見に基づき、児童生徒に向き合い、教員と学校をサポートする専門スタッフ

あ
行

か
行

用語	内容
滑走路端安全区域(RESA)	航空機が滑走路を飛び出して停止又は滑走路の手前で着陸した場合に、人命の安全を図り、機体の損傷を軽減するために設ける区域（RESA：Runway End Safety Area）
関係人口	県外に生活拠点をもちながら、県内の地域を定期的・継続的に訪れて地域づくり活動に多様な形で参加する人々
観光デジタル情報プラットフォーム	旅行者の属性情報や移動データ、事業者等の宿泊・観光・交通等の情報、自治体が有する統計データを収集、蓄積及び分析を行い、その分析データを必要とする旅行者等に情報提供するデータ利活用のためのプラットフォーム
管理捕獲	県で策定した特定鳥獣管理計画に基づき、農林業被害の軽減や、人と野生鳥獣との共生を図ることを目的に、増えすぎた特定鳥獣の個体数を計画的に調整するために行う捕獲
キャリアパス制度	中長期的な職業経歴上の道筋で、能力、資格、経験に応じた給与・処遇体系を定める制度
キャリアパスポート	児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、自らの学習状況やキャリア形成を見直し、振り返りながら、自身の変容や成長を自己評価できるように工夫されたポートフォリオ（各学年で作成したものを一つのファイル等に蓄積したもの）
ゲートキーパー	自殺予防の早期対応を図るための人材で、身近で悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る人
県域DMO「静岡ツーリズムビューロー」(TSJ)	2017年1月に(公社)静岡県観光協会内に設置された県全域を対象エリアとするDMOであり、本県のインバウンド施策の司令塔となり、マーケティングとマネジメントを行うとともに、地域のDMOを支援
健幸アンバサダー	健康づくりに関する正しい知識や上手な情報の伝え方を学んで、友人や近所の人など、周囲の人に情報を伝える人
県民スポーツ・レクリエーション祭	障害のある人もない人も、幼児から高齢者まで幅広く、誰もが気軽に取り組むことができる「ニュースポーツ」等を体験できる大会
県立工科短期大学校	職業能力開発促進法に基づき設置した短期大学校。清水・沼津技術専門校の教育内容を高度化して両校を短期大学校化し、本県産業を支える次世代のものづくりに対応した技術人材を育成
県立農林環境専門職大学	農林業経営や農林業生産のプロフェッショナルになるために必要な知識・理論及び実践的なスキルを身につけるための大学で、4年制の農林環境専門職大学に、2年制の農林環境専門職大学短期大学部を併設
公共施設等運営権制度	空港、道路、上下水道など利用料金を徴収する公共施設等について、施設の所有権を公的主体に残したまま、施設を運営する権利を民間事業者に付与する制度
交流籍	県立特別支援学校の小学部・中学部の児童生徒が、居住する地域の小学校・中学校に置く副次的な籍
国際バカロレア	文部科学省でもグローバル人材育成の観点から普及・拡大を推進している、国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が実施する国際的な教育プログラム
コミュニティカレッジ	地域活動を牽引するリーダー等の養成を目指し、自治会や各種団体に所属し、活動に携わる方等を対象とした、地域づくりについての知識や手法を学ぶ講座
コミュニティ・スクール	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく「学校運営協議会」により、学校、保護者、地域の方が学校運営に参画する仕組み
さ 行	従来の3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組に加え、資源投入量・消費量を抑え、資源を有効活用しつつ、経済成長も同時に目指す経済活動
	世界的な人口増加に伴う資源・エネルギー・食料需要の増大、廃棄物量の増加、気候変動をはじめとする環境問題の深刻化を受け、大量生産・大量消費・大量廃棄の一方通行の経済から、循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行を中長期的に進めていく必要性が高まっている
サステナブルツーリズム	訪問客、業界、環境及び訪問客を受け入れるコミュニティのニーズに対応しつつ、現在及び将来の経済、社会、環境への配慮を十分に考慮した観光

用語	内容
サテライト・オフィス	企業や団体の本社・本拠から離れた場所での勤務を可能とする情報通信設備を有し、自宅により近く、又は比較的空いた経路により混雑を回避して通勤できる場所に立地したオフィス
里親	親の病気、家出、離婚、その他様々な事情により家庭で暮らせない子どもたちを、自分の家庭に迎え入れて養育する人のこと
産業成長戦略	本県経済を本格的な回復軌道に乗せ、持続的に発展させていくため、産業界、金融界と県の連携により設置した「産業成長戦略会議」において、地域企業の事業活動の活発化や次世代産業創出の加速に向けた実行策として、2015年2月から毎年とりまとめる戦略
産業戦略推進センター 「オープンイノベーション静岡」	産業成長戦略に基づき2015年4月に設置した、新たな事業展開に積極的に挑む地域企業を官民協働でサポートするための組織
J M A T	日本医師会災害医療チーム（Japan Medical Association Team）のことで、災害発生時に、被災者の生命及び健康を守り、被災地の公衆衛生を回復し、地域医療や地域包括ケアシステムの再生・復興の支援を目的に活動
地震・津波対策アクションプログラム2013	2013年6月に策定した地震・津波対策の行動計画のことで、2022年度までの犠牲者の8割減少を目標に、187の具体的な施策を掲げ、それぞれ数値目標及び達成時期を明示
静岡県多文化共生総合相談センター かめりあ	外国人県民の医療、福祉、教育など、生活上の様々な相談に多言語で対応する相談窓口
静岡式35人学級編制	小3から中3において、35人以下の学級編制または少人数指導の選択ができる、静岡県独自の制度
しずおか食セレクション	多彩で高品質な静岡県の農林水産物の中から、県独自の基準に基づき、国内外に誇り得る価値や特長などを備えた商品を厳選して認定するもの
しずおかスポーツフェスティバル	県内に居住・勤務・在学している幅広い世代の方が参加し楽しめる、競技会や簡易ゲーム等のスポーツの祭典
静岡方式	地域の特性を踏まえた最も相応しい津波対策とするための本県独自の津波対策の取組であり、地域の歴史・文化・風土及び暮らしに根ざすとともに、自然との共生及び環境との調和の両立を目指し、地域の意見を取り入れ、市町と協働で推進 具体的には、レベル1津波を防御する施設整備や静岡モデル防潮堤の整備、警戒避難体制の整備などの組合せにより津波対策を実施
しずおか未来の森サポーター制度	C S R（社会貢献）活動として、森づくり活動を希望する企業を積極的に支援するための制度
静岡モデル防潮堤	レベル1を超える津波に対し、既存の防災林の高上げ等により、できる限り施設により被害の最小化を図る本県独自の安全度の向上策であり、震源域に近く、津波の到達が早い低平地に人口・資産が集中し、広範囲に甚大な被害が想定される本県の特性を踏まえた取組
児童虐待	親または親に代わる保護者により児童に対して加えられた身体的、心理的、性的虐待及びネグレクト（保護の怠慢ないし拒否）等の行為
社会健康医学	医学・医療と社会・環境を包括した活動などを通じて、人々の健康と福祉の向上を図るための学問であり、人々の健康問題の原因を主として人間と社会・環境の関係性の中で分析し、その予防方法や解決方法を研究する「公衆衛生学」をベースに、「ゲノム医学」、「医療ビッグデータ」などの新技術やICTを活用した新たな視点を加えたもの
「食の都」づくり	農林水産物の生産数・品質ともに全国トップクラスを誇る県産食材を生かし、地域で採れた食材を、地域でおいしく、楽しく、美しく、賢くいただく“ふじのくに食文化”を創造し、国内外の人々を惹きつけ、憧れの地域にしていく取組
食品ロス	まだ食べられるのに捨てられてしまう食品（製造・卸売・小売業での規格外品や売れ残り、外食産業での作りすぎや食べ残し、家庭での食べ残しや皮の剥きすぎ、手つかずの食品など）

用語	内容
新エネルギー	太陽光や風力などの自然の力で再生可能なエネルギーのうち、経済性の面から普及が十分でなく、非化石エネルギーとして導入を促進する必要があるもの（法令で定めるものは、太陽光、太陽熱、風力、中小水力、バイオマスなど10種類）
森林環境譲与税	2019年度から市町と県に譲与され、市町は地域の実情に応じた森林整備及びその促進、県は市町の取組の支援等の財源として活用
森林経営管理制度	森林所有者の意向に基づき、市町が森林の経営管理の委託を受け、林業経営や森林管理を行うことができる制度
森林経営計画	「森林所有者」または「森林の経営の委託を受けた者」が一体的なまとまりのある森林を対象に、森林の施業や保護、路網整備等に関する5か年計画を作成し、認定を受ける制度
森林認証	世界的に深刻な違法伐採や森林の荒廃などを防ぐため、環境と経済を両立させた森林管理を第三者機関が評価・認証する制度
スクールカウンセラー	教育機関において、児童生徒へのカウンセリング、教職員及び保護者に対する助言及び援助、教職員の研修における指導及び助言等を行うために派遣される心理の専門家
スクールソーシャルワーカー	社会福祉士や精神保健福祉士等の資格を有する者のほか、教育と福祉の両面に関して専門的な知識や技術を有する者で、学校と関係機関とのネットワークづくり等を行うことにより、問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働き掛けを行う専門家
S T E A M教育	S T E M（Science、Technology、Engineering、Mathematics）にLiberal Arts（芸術、文化のみならず、生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広い範囲で定義したArts）を加えた、各教科での学習を実社会での問題発見・解決にいかしていくための教科横断的な教育
S P A C	公益財団法人静岡県舞台芸術センター（Shizuoka Performing Arts Center）のことで、静岡県が設立した、国内外で活動する公立劇団
生物多様性	地域ごとに固有の自然があり、それぞれに特有の生き物があり、それら多くの生き物が様々な形でつながり合っている状態
C E F R	Common European Framework of Reference for Languages の略で、欧州評議会（Council of Europe）が外国語運用能力の評価等のために発表したヨーロッパ言語参照枠（英検との対照は日本英語検定協会が公表するデータにより、文部科学省において作成しており、A 1は英検3級程度、A 2は英検準2級程度）
C N F （セルロースナノファイバー）	植物繊維を微細化することで得られ、鋼鉄の5分の1の軽さで、その5倍以上の強度、熱による膨張・収縮が微小などの優れた特性を持ち、多様な用途での製品開発が進められている素材
スマート農業	ロボット技術やI C T等の先端技術を活用し、超省力化や高品質生産を可能にする新たな農業
性的指向／性自認	性的指向は、どの性別の人を好きになるか、恋愛や性愛がどの性別に向いているのかのこと。性自認は、自分の性別を自分でどう思うか、自分で認識している性別のこと
世界農業遺産 （世界重要農業遺産システム）	伝統的な農業と、農業によって生まれ維持されてきた農地やため池・水利施設等の灌漑、技術、文化風習、風景、それを取り巻く生物多様性が保全されている地域（農林水産業システム）を国連食糧農業機関（FAO）が認定する制度
全国学力・学習状況調査	義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から教育施策の改善を図るため、毎年、全国の小学校6年生・中学校3年生を対象に実施される、国語、算数・数学、理科（3年に1度）、英語（中学校のみ3年に1度）の各教科及び生活習慣や学校環境に関する調査
先端産業創出プロジェクト	中小企業の参入や事業化、中核人材の育成などを通じ、本県が有する各地域のポテンシャルを活かしたリーディング産業（将来性も含めた成長産業）を創出・育成するプロジェクト
総合型地域スポーツクラブ	地域住民が主体的に運営し、学校体育施設や公共スポーツ施設を拠点として、様々な種目が用意され、地域の誰もが、それぞれのレベルに応じて活動できるスポーツクラブ
総合教育会議	地方公共団体の長である知事と、教育行政を担う教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、社会総がかりの教育に向けた取組を推進するために設置した会議

用語	内容
第4次地震被害想定	2011年に発生した東日本大震災を契機に、2013年に県が作成した地震の被害想定であり、レベル1（発生頻度が比較的高く、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波（駿河・南海トラフ地震では、M8.0～8.7程度））、レベル2（発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの地震・津波（駿河・南海トラフ地震では、M9.0程度））の地震・津波による被害を想定
多面的機能支助成	農家だけでなく、非農家を含めた地域の多様な主体の参画により、地域ぐるみで農地や農業用施設等の資源を保全管理するとともに、農村環境の質的向上を図る地域共同の取組を支援する事業
地域学校協働本部	幅広い層の地域住民等が参画し、地域全体で子どもたちの成長を支える緩やかなネットワークを形成することにより、地域学校協働活動（「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動）を推進する体制
地域循環共生圏	2015年の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」と「パリ協定」を実効性ある形で実施していくため、国の第5次環境基本計画（2018年4月）で、脱炭素と持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向けて提唱された概念であり、各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、それぞれの地域の特性に応じて、他地域と資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限発揮されることを目指した考え方で、持続可能な開発の三側面である環境・経済・社会の統合的向上の具体化の鍵のひとつ
地域自立のための「人づくり・学校づくり」実践委員会	総合教育会議で協議、調整する議題等について、知事が様々な分野の有識者である委員から事前に意見を聴き、より社会全体の意見を反映したものとするために設置した委員会
地域スポーツコミッション	地方公共団体、スポーツ団体、民間企業等が一体となり、スポーツによるまちづくり・地域活性化を推進していく組織の総称であって、国の定める要件を備えるもの
地域日本語教育	地域住民が日本語教育の場に関わる初期日本語教室を、多文化共生の拠点として設置し、外国人が希望すれば県内のどこに住んでいても、生活に必要な日本語能力を習得できる体制を構築する取組
地域包括ケアシステム	高齢者が要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで送れるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供されるシステム
地域防災人材バンク	地域や職域での防災活動に、指導者や講師、アドバイザーなどとして協力・貢献できる方の氏名や専門分野等を記載した名簿
地域防災力見える化システム	総合防災アプリ「静岡県防災」に搭載した調査機能を活用し、各自主防災組織の実態を把握した上で、課題や改善に向けての取組状況を県・市町・自主防災組織間で常に見える化して活動の充実を図っていくシステム
畜産クラスター	畜産農家や地域の関係事業者がクラスター（ぶどうの房）のように連携・結集し、地域ぐるみで高収益型の畜産を実現する取組
「茶の都」づくり	茶に関する産業、文化、学術等の優れた資源を活かし、静岡茶ブランドを向上させるとともに、日本一の茶産地にふさわしい地域の魅力を構築し、国内外に発信していく取組
ChaOIプロジェクト	官民の総力を結集して、静岡茶の新たな価値の創造と需要の創出を推進し、本県茶業の再生を目指すプロジェクト
DMO	地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、戦略を策定し、着実に実施するための調整機能を備えた組織
DMAT	大地震及び航空機・列車事故等の災害発生直後（概ね48時間以内）に活動が開始できる機動性を持つ、専門的な研修・訓練を受けた災害派遣医療チーム
デジタルサイネージ	屋外・店頭などあらゆる場所でネットワークを通じて情報発信することが可能となる映像による電子看板・掲示板

	用語	内容
た 行	デジタル3原則	国が掲げる行政のデジタル化を推進する上での基本原則 ・デジタルファースト：個々の手続・サービスが一貫してデジタルで完結すること ・ワンスオンリー：一度提出した情報は、二度提出することを不要とすること ・コネクテッド・ワンストップ：民間サービスを含め、複数の手続・サービスをワンストップで実現すること
	デジタルデバイド	インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者の間に生じる格差
	D X（デジタルトランスフォーメーション）	D（デジタル）とX（トランスフォーメーション：変革）を組み合わせた言葉。ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること
	DESTINATIONキャンペーン（DC）	J R 6社と指定された自治体、地元の観光事業者等が共同で実施する国内最大の観光キャンペーンで、2019年4～6月期に静岡県で開催
	田園回帰志向	農村への関心を高め、新たなライフスタイルを求めて都市部から農村で生活することへ意識を向けること
	特別支援教育コーディネーター	発達障害を含む障害のある幼児・児童・生徒を支援するため、学校内の関係者や教育、医療、福祉、労働等の関係機関との連絡調整、保護者との関係づくりを推進する教員
な 行	Z E H（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）	住宅の高断熱化と高効率設備によりできる限りの省エネルギーに努め、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとなる住宅
	Z E B（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）	高断熱化、自然エネルギー利用、高効率な設備システム等により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネ化を実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物
は 行	バーチャルツアー	動画や画像などを用いて、現地にいるかのような仮想体験ができる旅行
	バーチャルパワープラント（V P P）	I o T技術の活用により、太陽光や風力といった再生可能エネルギーなどの発電量と、家庭や事業所が利用する電力量などのデータを集約し、蓄電池の遠隔操作等により、地域内の電力の需要と供給を効率的に調整するシステム
	パートナーシップ制度	お互いを人生のパートナーとし、日常生活において責任を持って相互に協力し合うことを約束した同性カップル等の関係を公認する制度
	「バイ・シズオカ」、「バイ・ふじのくに」、「バイ・山（やま）の洲（くに）」	「バイ・シズオカ」は、静岡県民に県産品の購入や県内施設の利用を呼び掛けることで、県内経済の循環を進める取組。関連として、山梨県と連携した「バイ・ふじのくに」、長野県、新潟県を加えた中央日本4県の連携による「バイ・山（やま）の洲（くに）」がある
	バイ・シズオカ オンラインカタログ	オンライン上に県産農林水産物やその加工品を掲載するカタログ。商談シートなど県内生産者とバイヤーを結び付けるB t o Bの機能と、通販サイト（EC）へリンクして消費者の購入を促進するB t o Cの両方の機能を有する
	H A C C P（ハサップ）	食品の製造・加工工程で発生するおそれのある微生物汚染等をあらかじめ分析し、その結果に基づく重要な工程を連続的・継続的に監視を行い、記録することにより、製品の安全を確保する衛生管理手法であり、従来の方法より効果的な衛生管理が可能
	ハッカソン	ハック（高い技術力を駆使してシステムを操る）とマラソンを組み合わせた言葉。エンジニア・デザイナーなどがチームを作り、与えられたテーマに対し、短期間に集中して、サービスやアプリケーション等を開発するイベント
	「花の都」づくり	多彩な花の品目や多種多様な人材など、本県の豊富な花に関する資源を活用し、花き生産の振興や花の文化の継承・創造を図り、暮らしの様々な場面で花と緑があふれる都づくりを進める取組
	P D C Aサイクル	P l a n（計画）、D o（実行）、C h e c k（評価）、A c t i o n（改善）を繰り返すことにより、業務を継続的に改善する手法
	ビジネス経営体	法人化し、一定の販売規模を持ち、雇用により労働力を確保した、マーケティング戦略に基づくサービスや商品を提供している農業経営体

用語	内容
人・農地プラン	農業者が話し合いに基づき、地域農業の中心的な役割を果たすことが見込まれる農業者（中心経営体）や地域農業の将来のあり方などを明確化し、市町が公表する計画
ファルマバレープロジェクト	県立静岡がんセンターを中核として、医療からウェルネスまで世界レベルの研究開発を進め、医療健康産業の振興と集積を図り、特色ある地域の発展を目指すプロジェクト
フトンバレープロジェクト	基盤技術として各種産業に応用可能な、県西部地域が世界に誇る光・電子技術を核とした光・電子技術関連産業の振興と集積を図り、特色ある地域の発展を目指すプロジェクト
ふじさんっこ応援隊	社会全体で子ども子育てを応援する気運の醸成等を図るため、個人、企業、NPO、行政等で結成し、それぞれが自主的に子ども子育てを応援する活動を実施
ふじ33プログラム	健康長寿の3要素「運動」「食生活」「社会参加」のメニューを取り入れた本県独自の健康長寿プログラム
ふじのくに美しく品格のある邑	農地や農業用施設をはじめ、美しい農村景観や地域固有の文化・伝統などの地域の「宝（資源）」を尊び、それを守り、次世代につなげていこうとする人々が集い、真摯な活動を行っている農山漁村地域
ふじのくにCOOLチャレンジ	地球温暖化防止のために、“静岡県のみんなのチカラ”でエコな行動に取り組んでいく参加型の県民運動
ふじのくに回遊式庭園	県全体をぐるりと眺めて回ることができる「回遊式庭園」に見立て、県内各地の美しい景観を社会総掛かりで磨き上げるという、本県の景観づくりの目指す姿
ふじのくにグローバル人材育成基金	国際的に活躍しようとする意欲のある高校生や、グローバル教育の向上を図る学校及び教職員を、産業界や県民が社会総掛かりで支援するために創設した基金
ふじのくに芸術祭	広く県民に芸術作品の発表や鑑賞の機会を提供し、県民が自ら行う文化活動を支え、本県の文化の向上発展を図る総合芸術祭であり、昭和36年から開催
ふじのくに少子化突破戦略の新・羅針盤	合計特殊出生率に影響を及ぼす、乳幼児サポート力等5つの地域力を市町ごとに分析した資料であり、市町が少子化対策に資する独自の取組を検討するための基礎資料として活用
ふじのくに女性活躍応援会議	県内の産業界における女性活躍をより一層促進するため、2016年3月に発足した官民一体のネットワーク型組織で、女性活躍に関する情報交換、情報発信、県との共催事業などの取組を実施
ふじのくにスポーツサポーター Shizu9（シズナイン）	県内のスポーツ機運の盛り上げやスポーツ交流の拡大等への貢献が期待できる著名人・アスリート等をふじのくにスポーツサポーターに委嘱し、特に県内メディアで活躍する9名を「Shizu9（シズナイン）」と称してスポーツ関連情報を発信
ふじのくに地域・大学コンソーシアム	本県の高等教育機関、県、市町、その他地域団体等を構成員とする公益社団法人であり、教育研究機能の向上と地域社会の発展に寄与することを目的として設立され、大学間や大学と地域の連携により、教育連携、共同研究、地域貢献などの取組を実施
ふじのくに茶の都ミュージアム	お茶の産業・文化・学術に関する展示など、お茶について楽しく学べる機会を提供する博物館で、2018年3月、島田市に開館
ふじのくにバーチャルメディカルカレッジ	本県の医師確保対策の充実・強化を図るため、日本全国どこの医学部に在籍していても、本県の地域医療の魅力を学べる仮想の医科大学
ふじのくに福産品一人一品運動	障害のある人が働く障害福祉サービス事業所の製品である「ふじのくに福産品」（授産品の愛称）の継続的な購入を県民に対して呼び掛けることで、障害のある人の工賃向上と経済的な自立を推進する取組
ふじのくにフロンティア推進エリア	革新的技術等を活用して都市的サービスを提供する拠点相互の連携・補完を図ることにより、地域課題の解決を図る圏域を、市町の申請に基づき県が認定
ふじのくにフロンティア推進区域（内陸フロンティア推進区域を改称）	安全・安心で魅力ある県土の実現を図るため、防災・減災と地域成長が両立した先導的なモデルとなる取組が展開される区域を、市町の申請に基づき県が指定

は
行

用語	内容
ふじのくに文化財オータムフェア	文化庁が毎年11月1～7日に設定する文化財保護強調週間に合わせ地域の身近な文化財に親しんでもらうため、市町、文化財所有者等の協力により、10月から11月に県内各地で文化財に関するイベント等を開催（旧しずおか文化財ウィーク）
ふじのくに防災学講座	県民を対象に、防災研究・教育・対策に関する調査・研究成果の発表、情報提供等を行う公開講座
ふじのくにマーケティング戦略	県産農林水産物の販路拡大と生産拡大を図るため、「マーケットイン」型の考え方により取りまとめた、市場と生産が結びついた本県独自の戦略
ふじのくに魅力ある個店	経営者自らが接客などに直接携わる県内の路面店舗（チェーン店、大型店テナントを除く）で、地域とともに歩むなど3つの基本理念に賛同し、登録された店舗
ふじのくに森の防潮堤づくり	平時には県民に親しまれる憩いの場となり、有事には津波に対する多重防御の一翼を担う、しなやかで粘り強い海岸防災林等を整備する取組
ふじのくに林業イノベーションフォーラム	産学官の多様な主体の参画により、先端技術に関する情報と森林・林業の現場のニーズを共有し、技術の普及と現場実装に取り組む場として、2020年11月に設立
フジノミクス	ヘルス（健康）とウェルス（富）の一体的推進を図りながら、需要面から財とサービスの消費を喚起し、供給面からリーディング産業の育成を図る地域主導型経済政策
フーズ・ヘルスケア オープンイノベーションプロジェクト	食品や化粧品に加え、ヘルスケア分野を支援することにより、「食を中心とする健康増進社会の実現」と「異分野の融合によるイノベーションの創出」を目指すプロジェクト
豚熱	強い伝染力が特徴で、発生した場合の経済的影響が甚大であることから、家畜伝染病予防法の中で、特に措置を講ずる必要があるものとして特定伝染病に指定された、豚熱ウイルスにより起こる豚、イノシシの熱性伝染病
プラスO（オー）の住まい	コロナ禍をきっかけに働き方や暮らし方が見直され、人々の住まいに対する価値観が変化した。その変化を的確に捉え、産官学連携により進める、静岡らしい自然豊かでゆとりある職住一体の住まいの創出に向けた取組
プロジェクト「T O U K A I - 0」	地震による住宅の倒壊から県民の生命を守るため、耐震性の低い旧耐震基準（昭和56年5月以前に建築）の木造住宅の耐震化を促進するプロジェクト
プロフェッショナル人材戦略拠点	県内中小企業の経営革新を促すため、プロフェッショナル人材のニーズを把握、具体化し、民間人材紹介会社との連携により、首都圏等に在住する人材の県内企業への受入れを支援する拠点で、2015年12月に開設
文化プログラム（オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラム）	スポーツと文化、教育を融合させるオリンピックの根本原則に則り、オリンピック憲章で実施が定められており、前大会終了後から本大会終了後まで、開催都市をはじめとする各地で様々な文化的イベント等を開催
文化とスポーツの殿堂	東静岡から日本平、三保松原に広がる地域に集積する「学術、文化・芸術、スポーツ」施設との相乗効果により、多様な交流と賑わいを生み出す拠点として東静岡駅周辺地区に形成を目指すもの
文化財保存活用大綱	文化財保護法改正（平成31年4月1日施行）を受け、本県の文化財の保存及び活用に関する総合的な方向性を示したもの。令和2年3月策定
防災重点農業用ため池	決壊による水害その他の災害により周辺の住宅等に被害を及ぼすおそれがあるため池を、「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に基づき県知事が指定
訪問看護ステーション	住み慣れた自宅で療養生活が送れるように、医師や医療専門職、ケアマネジャーなどと連携し、訪問看護サービスを提供する事業所
マイクロツーリズム	自宅から1～2時間ほどの距離の地元又は近隣への宿泊・日帰り観光
M a O I プロジェクト（マリンオープンイノベーションプロジェクト）	駿河湾等の魅力ある海洋資源を活用し、マリンバイオテクノロジーをはじめとした先端技術によるイノベーションを促進することにより、海洋産業の振興と海洋環境の保全の拠点形成を目指すプロジェクト

は
行

ま
行

	用語	内容
ま 行	マーケットイン	消費者の視点に立ち、消費者ニーズを汲み取って商品の企画・開発を行い、提供していくこと
	メディアクロス	複数の広報媒体を掛け合わせ、相乗効果を狙う広報手法
	森づくり県民大作戦	森林ボランティア・企業・行政などの協働による森づくり活動を県内各地で行うもの
	森の力再生事業	公益性が高いにもかかわらず、所有者による整備が困難なため荒廃している森林の再生を図る、森林（もり）づくり県民税を財源とする事業
や 行	やさしい日本語	難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮した分かりやすい日本語のことで、外国人や子どもや高齢者、障害のある人など、様々な人とのコミュニケーションの手段となるもの
	夜間中学	様々な理由により義務教育を修了できなかった人、不登校等の理由により実質的に十分な教育を受けられないまま学校の配慮等により中学校を形式的に卒業した人、日本や母国等で9年間の普通教育を修了せずに学齢を超過した外国籍の人を対象とする中学校
	U I（ユーザーインターフェース）	利用者がパソコン等を操作する上での環境。W e b サイトやアプリの扱いやすさや操作性
	ユニバーサルデザイン	年齢、性別、能力、言語、考え方など、人々が持つ様々な違いを認め合い、はじめから、すべての人に配慮して、建築、施設、製品、環境、社会の仕組み等をデザインしていこうとする考え方
ら 行	ランドオペレータ	旅行会社の依頼を受け、旅行先のホテル、レストラン、ガイドなどの手配や予約を専門に行う会社
	リカレント教育	就職してからも、生涯にわたって教育と他の諸活動（労働、余暇など）を交互に行うといった概念（日本では、一般的に「リカレント教育」を広くとらえ、働きながら学ぶ場合、心の豊かさや生きがいのために学ぶ場合、学校以外の場で学ぶ場合も含めている）
	リプロダクティブ・ヘルス／ライツ （性と生殖に関する健康と権利）	1994年にカイロで開催された国際人口・開発会議において提唱された概念。リプロダクティブ・ヘルスは、性や子どもを産むことに関わるすべてにおいて、身体的にも精神的にも社会的にも本人の意思が尊重され、自分らしく生きられること。リプロダクティブ・ライツは、自分の身体に関することを自分自身で決められる権利のこと
	流域治水	気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、堤防の整備、ダム建設再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域（雨水が河川に流入する地域）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定される地域）にわたる流域に関わるあらゆる関係者が協働して水害対策を行う考え方
	林業イノベーション	先端技術やデジタル技術の導入により、森林・林業の作業の効率化・省力化や安全性の向上を図る取組
	レッドデータブック	野生生物について、現在どの程度絶滅の危機にあるか種ごとに評価し、ランクを付け、その生態や分布状況などを記載した解説書で、人間活動が野生生物にどのような影響を与えるかを予測する基礎資料となるもの
	6次産業化	農林漁業者自らが加工・流通・販売までを行う取組や、農林漁業者と中小企業者の連携により新商品の開発や販売を行う取組など、1次・2次・3次産業を総合的に組み合わせた取組
	6次産業化サポートセンター	農林漁業者等が取り組む6次産業化による経営向上を支援するため、県が県庁及び農林事務所、水産・海洋技術研究所等に設置する相談窓口
わ 行	ロボットシステムインテグレーター	作業の自動化を目的とした機械システムの導入提案や設計組立などのシステムを構築する作業（システムインテグレーション）の担い手となる企業
	R O R O 船	ロールオン・ロールオフ船の略で、トラックや、トレーラーが直接乗下船し、切り離れたシャーシ（荷台）だけをまとめて長距離輸送する貨物車両専用フェリー
	ワーケーション	テレワークを活用し、リゾート地や温泉地等で余暇を楽しみつつ仕事を行うこと（Work（仕事）とVacation（休暇）を組み合わせた造語）

新ビジョンに掲げる政策とSDGsの関係

持続可能な社会の実現を目指し、2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」では、2030年に向けて、すべての国々に普遍的に適用される17の目標に基づき、経済・社会・環境をめぐる広範な課題への統合的な取組が求められています。

SDGsの17の目標

- ① あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
- ② 飢餓を終わらせ、食料安全保障と栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
- ③ あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
- ④ すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
- ⑤ ジェンダー(社会的・心理的性別)の平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメント(能力強化)を行う
- ⑥ すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
- ⑦ すべての人々の安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
- ⑧ 包摂的かつ持続可能な経済成長、すべての人々の完全かつ生産的な雇用とディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい雇用)を促進する
- ⑨ レジリエント(強靱)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進、イノベーションの拡大を図る
- ⑩ 国内と国家間の不平等を是正する
- ⑪ 包摂的、安全、レジリエント(強靱)で持続可能な都市と人間居住を実現する
- ⑫ 持続可能な生産消費形態を確保する
- ⑬ 気候変動とその影響を軽減するための緊急対策を講じる
- ⑭ 持続可能な開発のために海洋資源を保全し、持続的に利用する
- ⑮ 陸上生態系の保護・回復・持続的な利用、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地の劣化の阻止・回復、生物多様性の損失の阻止を促進する
- ⑯ 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会の促進、すべての人々の司法へのアクセス提供、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度の構築を図る
- ⑰ 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する



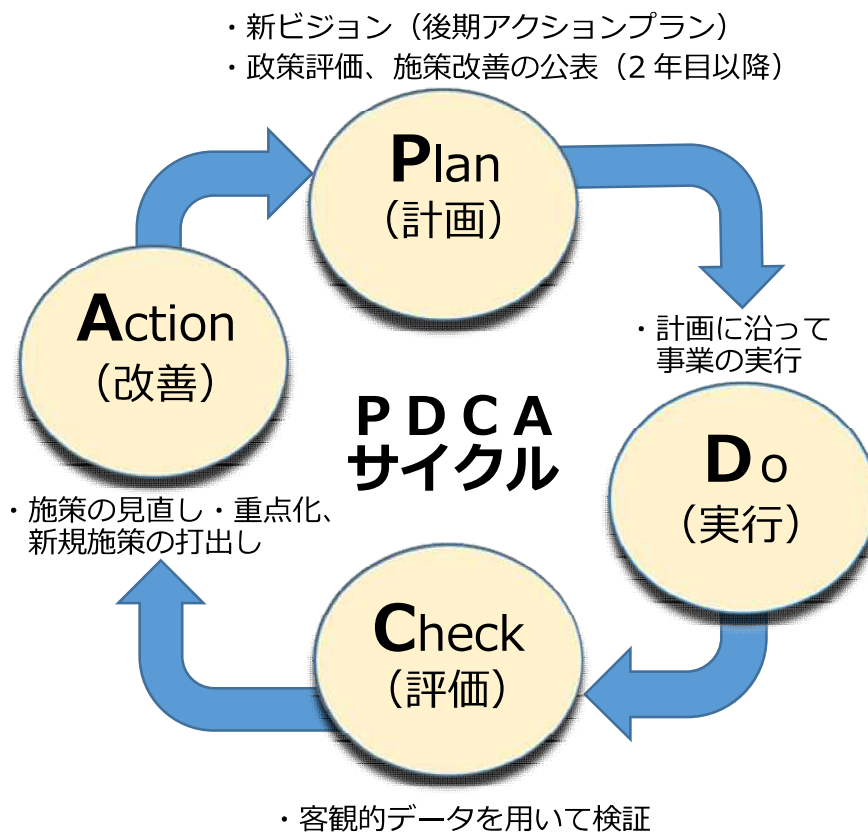
新ビジョン（後期アクションプラン）に掲げる政策に基づく取組の推進が、SDGsの17の目標の達成につながります。

政策体系		SDGsの17の目標																
12の政策	政策分野と施策・取組の方向を示す34の政策の柱	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
		貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	水・衛生	エネルギー	成長・雇用	イノベーション	不平等	都市	生産・消費	気候変動	海洋資源	陸上資源	平和	実施手段
1 命を守る安全な地域づくり（新たなリスクへの備えの強化）	1 危機管理体制の強化			●	●	●						●		●				●
	2 防疫対策の強化(新しい感染症や再流行の感染症等)		●	●														
	3 防災・減災対策の強化	●	●	●				●		●		●		●				●
	4 安全な生活の確保と交通安全の推進	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●		●	●	●	●
2 安心して暮らせる医療・福祉の充実	1 医療提供体制の確保・充実と健康寿命の延伸	●		●	●	●			●	●	●							●
	2 いつまでも自分らしく暮らせる長寿社会づくり	●		●	●	●			●									
	3 障害のある人が分け隔てられない共生社会の実現	●		●	●	●			●		●							
	4 地域で支え合う安心社会づくり	●		●		●			●		●							
3 デジタル社会の形成	1 地域社会のDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	●			●				●	●	●							●
	2 行政のデジタル化の推進																	●
4 環境と経済が両立した社会の形成	1 脱炭素社会の構築							●	●	●		●	●	●	●	●		
	2 循環型社会の構築				●		●	●	●		●	●	●	●	●	●		●
	3 「命の水」と自然環境の保全		●	●	●		●		●		●	●	●	●	●	●	●	●
5 子どもが健やかに学び育つ社会の形成	1 結婚の希望をかなえ、安心して出産や子育てができる環境づくり			●	●	●						●						●
	2 すべての子どもが大切にされる社会づくり	●		●	●	●			●		●	●						●
6 “才徳兼備”の人づくり	1 「文・武・芸」三道鼎立の学びの場づくり				●	●			●	●	●	●						
	2 次代を担うグローバル人材の育成				●	●					●	●						
7 誰もが活躍できる社会の実現	1 活躍しやすい環境の整備と働き方改革	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	2 誰もが理解し合える共生社会の実現	●		●	●	●			●	●	●	●						●
8 富をつくる産業の展開	1 DXによる産業構造の改革		●		●				●	●			●				●	
	2 地域主導型の経済政策「フジミクス」の推進			●	●			●	●	●		●	●	●	●	●		●
	3 リーディングセクターによる経済の牽引			●					●	●			●	●				
	4 富を支える地域産業の振興								●	●			●					
	5 農林水産業の競争力の強化		●		●			●	●	●		●	●	●	●	●		●
9 多彩なライフスタイルの提案	1 魅力的な生活空間の創出		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●
	2 新しい働き方の実践					●			●		●	●						●
	3 人の流れの呼び込み					●			●		●	●		●	●	●	●	●
10 地域の価値を高める交通ネットワークの充実	1 産業や暮らしを支える交通インフラの強化			●						●		●		●				
	2 世界に開かれた玄関口の機能強化			●				●	●	●		●	●	●	●			
11 “ふじのくに”の魅力の向上と発信	1 スポーツの聖地づくり	●		●	●				●		●	●		●				
	2 文化・芸術の振興				●				●		●	●						
	3 美しい景観の創造と自然との共生		●		●		●				●	●	●	●	●	●		●
12 世界の人々との交流の拡大	1 世界クラスの資源を活かした観光交流の拡大				●				●	●	●	●		●	●			
	2 地域外交の深化と通商の実践	●	●	●	●		●		●	●	●		●		●	●	●	●

新ビジョンの推進

計画の進捗に当たっては、県民ニーズや急速に変化する社会経済状況に対応するため、PDCA サイクルにより、計画の実効性を高めていきます。

- 「目標」の達成に向けた施策の効果や施策の進捗状況について、毎年度、客観的データである成果指標及び活動指標により検証し、施策の改善に図っていきます。
- 県民参加型の政策評価やパブリックコメント、静岡県総合計画審議会、県議会での審査など、外部評価を徹底し、その結果をわかりやすく公表します。
- 新ビジョン（後期アクションプラン）については、新型コロナウイルス感染症の社会経済情勢に与える影響を勘案して、計画期間中であっても、成果指標及び活動指標の目標水準等の見直しを実施します。



新ビジョン 後期アクションプラン策定の経過

県議会や総合計画審議会における審議を経て、県民の皆様や市町からの様々な意見を反映し、新ビジョン 後期アクションプランの策定を進めました。

経過項目（年月日）	内 容
第1回総合計画審議会（2021年8月19日）	骨子案の審議
県議会9月定例会	骨子案の提示
県民アイデア募集（2021年8月29日～10月1日）	県民からの提言・アイデアの募集
第2回総合計画審議会（2021年10月18日）	素案の審議
市町からの意見聴取（2021年10月18日～11月2日）	市町意見の聴取
県議会各会派からの提言（2021年11月9日）	素案に対する提言
パブリックコメント（2022年1月17日～2月16日）	県民意見の募集
第3回総合計画審議会（2022年1月25日）	後期アクションプラン案の審議
動画による県議会議員への説明（2022年2月7日～21日）	後期アクションプラン案の説明
県議会2月定例会常任委員会集中審査（2022年2月21日）	後期アクションプラン案の審査
県議会議長から知事への意見書の提出（2022年3月17日）	後期アクションプラン案に対する意見書の提出
静岡県の新ビジョン「富国有徳の美しい“ふじのくに”の人づくり・富づくり」後期アクションプラン公表（2022年3月）	後期アクションプランの公表

総合計画審議会委員名簿

(50音順、敬称略)

氏名	役職等
青山 吉和	静岡県農業協同組合中央会代表理事会長
石塚 正孝	静岡県コンベンションアーツセンター館長
伊藤 嘉奈子	静岡県コミュニティづくり推進協議会会長
大久保 あかね	静岡県立大学経営情報学部教授
荻田 雅宏	株式会社静岡新聞社取締役
生座本 磯美	有限会社ナチュラル・ライフ代表取締役
小原 榮一	静岡県地域安全推進員連絡協議会会長
紀平 幸一	一般社団法人静岡県医師会会長
熊野 善介	静岡大学教育学部名誉教授・特任教授
小杉 充伸	静岡県環境保全協会副会長
小林 昭子	静岡県消費者団体連盟会長
今野 朝子	静岡県商工会女性部連合会会長
◎ 酒井 公夫	一般社団法人静岡県商工会議所連合会会長
佐藤 育男	株式会社中日新聞社取締役東海本社代表
佐藤 三武朗	特定非営利活動法人伊豆地域振興研究所理事長
下位 桂子	静岡県男女共同参画センター交流会議代表理事
鈴木 智子	一般社団法人静岡県大学出版会代表理事
園田 正世	北極しろくま堂有限会社代表取締役
武田 知己	公益財団法人静岡県スポーツ協会副会長
谷藤 悦史	早稲田大学名誉教授
角田 裕之介	日本放送協会静岡放送局長
富田 貴子	公益財団法人静岡県国際交流協会理事
中西 清文	日本労働組合総連合会静岡県連合会会長
野見山 浩平	日本銀行静岡支店長
増田 俊明	静岡大学防災総合センター特任教授
吉川 慶子	静岡県保育士会会長
渡邊 昌子	公益社団法人静岡県看護協会会長

◎：会長



静岡県の新ビジョン
富国有徳の美しい“ふじのくに”の人づくり・富づくり
後期アクションプラン

静岡県政策推進局総合政策課
〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号
☎ 054-221-2145 FAX 054-221-2750
ホームページ <https://www.pref.shizuoka.jp/>
